



この頁は読者のために開放してあります。
 略農関係のご質問、ご感想、本誌に対するご意見、或は経営の概要、試作試験、地方のニュースなど、どしどしお寄せ下さい。
 ご質問以外の掲載分には粗品を呈いたします。
 (係)

問 レスベデーザーの特性について御説明下さい。(愛媛県上浮穴郡久万町下畑野川 正岡実郎)

答 まめ科植物一年生で、和名は「ヤハズソウ」と言い、葉は三枚の小葉からなり、各小葉の葉脈が矢ハズ状を呈している。その名があります。また別名「ジャバンクローバー」とも称し、米国人が神戸市附近に野生しているヤハズソウを採集し、優良な品種系統を作出し、乾草並びに放牧地用として利用しております。

わが国では寒冷地を除いて到るところで生育し、酸性によく、根は直根が土中深くに入り多くの支根を出すので早魃に耐え不良土壌に適します。米国では赤クローバーの生育不良地帯で、その代用作物として大いに利用され、主として放牧草として用いられています。家畜の嗜好は良く、過食によっても膨脹症の憂いは少なく、飼料価値は赤クローバーに近いものです。

肥沃な土壌に栽培する場合には、生育が旺盛で繁殖性いちじるしく、乾草に製造し利用することができ、通常一〇%当たり三



(かねこ)

〇四の乾草収量を挙げています。肥料成分としては燐酸が最も有効で、腐植を加えると更に効果が顕著に表われます。石灰の効果は若干ありますがルーサンや赤クローバーほど明らかでなく、これはレスベデーザーが酸性土壌に対して抵抗性が遙かに強いからで、不良土壌及び開拓地等の酸性土壌地帯に適する作物の一つであることを示しています。採草地にはパーミニューダグラスあるいはハーデンググラス等と混播いたします。

レスベデーザーは特に瘠薄な土壌において夏期に良好な苜蓿牧草であり、放牧或いは乾草として利用し、土壌改良及び浸蝕防止にも極めて有効に役立つ作物です。

上の雪は払いおとすようにすべきです。障子の骨は普通のものでも割合丈夫で、尺余の降雪にもそう傷むものでありませんが、新しくこしらえる場合は多少丈夫にしておいた方がよい。天候に左右されますが一般に障子被覆後二〇日〜三〇日くらいで、一八〜二四%に伸長するのでその頃第一回の刈取りを行ないます。

トンネル促成栽培
 トンネル栽培は、畦間四五%、株間二〇%に植え、一年養成した株か、露地の春切りの株に一月下旬〜二月上旬、中耕、除草、追肥を行なって、枯葉を株元から鎌で刈取り、幅二七〇%のビニールをかける方法です。トンネルをかけた後、畑に適当な水分があれば約一五日〜二〇日くらいで収穫となります。

寒い西風を入れると促成ニラ同様、葉先が白くなって品質をおとすので密閉とします。降雪などの場合い夜間コモをかけたまた周囲に風囲いを設けます。

二年収穫を続けると株も大きくなり、葉幅も狭くなるので、三年目は夏休養させて促成用にするか、秋露地で収穫して捨ててしまします。

地温の低い地帯では、栽培に適当な二〇〜二五度になるように、醸熟物二〇〜二五%入れた上の床土三〜五%の間に五〇〇%六〇%の農業用電熱線を一一〜一三平方呎(三〜四坪)に入れ、その上に株を伏込んで行くと、非常に効果的であります。

は株が腐敗するといわれています。収穫も一月から行なえるので、価格も一、〇〇〇円から一、五〇〇円(三・七五%)と極めて有利であります。

種株の養成はフレーム促成の場合と殆ど同じですが、実生や、株分け後は翌年一年間養成しなければ、温室に入れる事は出来ません。温室に入れる時期は、一度低温に遭い休眠に入った十二月始め頃から中頃で、雪を割って一五%角くらいに丁寧に掘り取り、大根は密に組んでいて土はおらないものですが、これを隙間のないよう、そして表面は凹凸のないようにベットのの上にならべ、予め用意しておいた床土を三〜六%覆土します。

伏込みが終わると微温湯を坪当たり一八%くらい灌いで、発芽迄ビニールを覆って置き、二〇日位して二〇〜二四%に伸びたならば収穫を始めます。やはり刈取りは三回位で爾後は品質が落ちるので打ち切りにします。

収穫と管理
 収穫は白根をつけて刈取り、朝収穫すると束ねやすいので、一回目は一把四〇%位に、二回目は八〇〜一〇〇%くらいに、三回目は更に大束とします。新しい株を使えば四〜五回も収穫できます。収量は坪当たり一〇〇〜二〇〇束くらいです。

収穫期中は特に追肥の必要なく五月から六月に鶏糞一五〇%、石灰チソソ八〇%、塩加四〇%、一〇%刈当り施します。

特にアブラムシの発生が多い場合がありますので、早目にマラソンかエンドリンの千倍液を二〜三回サンブして、葉幅の広い良質のニラを生産するようにします。

(種苗部)